

# 柔道整復師募集案内

## YONEDA HOSPITAL

2023年4月入職者向け

YONEDA

# YONEDA HOSPITAL YONEDA CLINIC

## はじめに

当院は整形外科単科病院・診療所として、一般的な整形外科疾患の他、スポーツによるケガ、手の外科、人工関節手術や関節リウマチの治療も得意としています。

平成27年秋に耐震建替工事が完了し、外来・入院病室も充実した環境となりました。

患者さん本位の医療を提供するため、医師・看護師・薬剤師・放射線技師・リハビリスタッフ・その他関係職種とともにチーム医療を推進しています。

専門職の経験を積みながら、チームYONEDAの一員として一緒に働きましょう！

## 経営理念

患者さん中心の医療を目指す

1. 高水準で安全な運動器医療の提供
2. 各医療職種の人材の持ち味を生かす
3. 地域医療連携

## YONEDAグループ 5つの目標

1. 双方向コミュニケーション
2. 標準化
3. 全体最適
4. 透明性
5. 継続性



## リハビリテーション科のご紹介

病院外来部門では、柔道整復師が予診や診察補助、そして医師の指導のもとに整復・固定・患者指導などを行っています。経験豊富な医師の診察を間近で見ることにより、固定やリハビリにおけるポイント、患者さんへの説明方法などを直接見たり聞いたりすることができる環境です。

また、病院・クリニックのリハビリ部門では理学療法士が勤務しています。

クリニックリハビリ部門では、午前中は高齢者を中心に骨折、脱臼などの急性期外傷後や変形性関節症などの疾患のリハビリを行っており、午後は学生、スポーツ競技者などを中心に前十字靭帯損傷(術前後)や投球障害などスポーツ障害に対するリハビリテーションを行っています。病院リハビリ部門では、手術後の患者さんを中心に、早期社会復帰のための積極的なリハビリテーションを行っています。

理学療法士も多く勤務しており、お互いに切磋琢磨し、良い環境のリハビリテーション科を作り上げることを目的に、定期的な勉強会を開催し、学会発表などにも積極的な支援を行っています。また、当院は日本相撲協会の指定病院となっており、希望者は大相撲名古屋場所の救護活動にも参加しています。

当院は大変多くの患者さんが来院されるため常に忙しい環境です。

ゆったりとした環境で業務を行いたいと考えている方には不向きである職場だと思います。

しかし自分の持っている能力(知識、技術、接遇)を発揮して患者さんに喜んでいただき笑顔が見たい。

また多くの仲間(他職種も含め)とコミュニケーションをとりチームの一員として働きたい。

そして多くの症例を経験することで自分自身が成長したいと思っている方には、大変適した職場であると確信しています。



---

## リハビリテーション科の目標

1. 各職種との良好なコミュニケーションを通して業務の質を確保する。
2. 高水準で安全な保存療法・運動療法を提供する。
3. 職員が気持ちよく働き、互いに成長し続けることのできる職場を目指す。

# YONEDAの取り組み

## 電子カルテ

電子カルテは保存性・真正性・見読性に優れ、毎日の業務を円滑に行うことができます。当院では患者さんの個人情報や診療内容を全て電子カルテで管理しています。

## チーム医療

医師、薬剤師、看護師、柔道整復師など、他職種とのコミュニケーションが非常に活発です。チーム医療の一員として、広い視野で患者さんを支えることができますようになります。

## CSとESの向上

CS(顧客満足度)とおなじように、ES(従業員満足度)の向上が大切だと、当院の経営者は考えています。ESに対する主な取り組みとして、職員食堂の充実、資格手当などの他、残業時間をできるだけ減らし、有給休暇や育児休暇などを積極的にとることを奨励しています。また、ハラスメントとみなされる行為が黙認されないよう、コンプライアンスに関しても整備を進めています。

# リハビリテーション科のPOINT

### POINT 1

## 着実にスキルアップできる！

患者さんにとって最良な医療を提供できるよう、固定や整復などの柔道整復術のテストを適宜行い、合格した柔道整復師のみ患者さんに施術をすることができます。また、休憩時間や診療終了後を利用して先輩や同僚とともに練習を行ったり、先輩について整復や固定の現場に入り、見学しながら臨床経験を積むことができます。

### POINT 2

## 圧倒的な症例数・外傷数！

当院は人員・施設ともに高い専門性を兼ね備えており、更に接骨院との医接連携が盛んなため、他の医療機関と比較し圧倒的な症例数・外傷数を誇っています。その中で、初めて受診された患者さんにお話を伺ったり、徒手検査等を行う医療面接、医師の指示の下に行う整復や固定、理学療法士とともに運動器リハビリテーションなど、柔道整復師のスキルを発揮できる環境が整っています。

### POINT 3

## 実践的に医接連携を学べる！

新患の約15%が接骨院からご紹介いただいた患者さんであり、当院では積極的に医接連携を行っています。当院の柔道整復師は、日常診療の第一線である米田病院の外来でも活躍しており、接骨院との情報提供書のやりとりは医師の指導の下に主として柔道整復師が行っています。紹介状や情報提供書の書き方のマナーはもちろん、接骨院の先生方の見立てやその後の連携の流れなどを実践的に学ぶことができます。

### POINT 4

## 手術見学ができる！

当院では、骨接合手術のほか、膝ACL靱帯の再建術や膝・股関節の人工関節置換術など様々な手術を行っています。年間400件ほどの手術は、高度な専門技術を誇る経験豊富な医師らにより、整形外科専用手術室で行われます。他院ではなかなか見ることが出来ないような高度な手術も見学することができます。手術を見学をすることにより、患部の状態をより深く把握できるだけでなく、手術見学で得た知識をリハビリに役立てることができます。

POINT5

## ハイレベルな診療現場で最先端の医療が体感できる！

医療機関での治療で非常に重要なのは「診断力」です。当院では、股関節・膝関節専門、小児の骨折、リウマチ、腰椎分離症、アキレス腱断裂などを得意とするハイレベルな医師が在籍しています。また、名古屋大学整形外科医局の各専門班に所属する非常勤医師（脊椎／腫瘍／リウマチ／手の外科）が、大学から正式に毎週巡置されており、最善の診断と診療方針の決定をスピーディーに行うことができます。さらに「診断力」を高めるため、高性能の画像診断装置により、さらに詳しく病態を把握し正確に診断することが可能です。当院では、最先端の知識と技術を兼ね備えた医師とコミュニケーションを取りながらチーム医療を推進しています。

POINT6

## 接骨院の業務も経験できる！

学校教員の指導下で施術補助が経験できます。施術以外では受付、会計など一般的な接骨院業務も行います。接骨院の地域での役割、そして病院と接骨院の違いを学ぶことができ、より幅広い経験を積むことができます。

POINT7

## 万全の患者さんサポート体制！

入院リハビリを行う病院、通院リハビリを行うクリニックの両施設の連携により、「入院前リハビリ・診察→入院中のリハビリ→退院後リハビリ・診察」の一連の流れに対するフォロー体制も整備しています。

POINT8

## 院内勉強会・院外発表のバックアップ！

昼の休憩時間などを使い、先輩や後輩と固定・整復やリハビリの練習や相談ができるだけでなく、医師も参加する院内勉強会で高い評価を得た内容については、学会発表が全面的に支援されます。平成31年度は、日本整形外科スポーツ医学会学術集会、日本足の外科学会学術集会、日本臨床スポーツ医学会学術集会など、医師も参加する大きな学会で、柔道整復師たちが発表を行いました。



POINT9

## 充実した医療機器！

超音波画像診断装置・筋電図・等速性筋力測定装置(CYBEX)などの医療検査機器が充実しており、それらを使用し知識を深めることができます。動作解析設備も備えており、投球や歩行などの研究も可能です。

POINT10

## 大相撲名古屋場所で力士の救護活動ができる！

毎年7月に行われる名古屋場所中は、リハビリテーション科より1日2名が8:30～18:00まで支度部屋の一角で待機しています。取り組み前のテーピングや、取り組み後の外傷処置などを行っており、多いときには40名以上にテーピングを施行することもあります。



POINT11

## 仕事とプライベートの両立を応援！

YONEDAでは有給休暇の取得を奨励しています。リハビリテーション科においては、リハビリ予約制を生かし休養を取り、リフレッシュをしっかりとできるような体制を整えています。有給休暇の取得は、健康だけでなく職場の安全にもつながっています。

# 1日の流れ

## [ 病院外来 ]

- 8:30 — 業務開始  
朝礼 準備 カルテチェック
- 9:00 — 午前の診察開始  
診察補助 予診 固定 など  
※クリニックの受付補助・診察補助あり
- 12:30 — 休憩 昼食 会議 勉強会 など
- 15:00 — 午後の診察開始  
診察補助 予診 固定 など  
※クリニックの受付補助・診察補助あり
- 18:30  
19:00 — 業務終了



## [ 米田接骨院 ] ※水・金・土のローテーション制

- 9:30 — 午前の業務開始  
受付 施術 会計などの補助
- 12:00 — 午前の業務終了
- 15:00 — 午後の業務開始  
準備 受付 施術 会計などの補助  
(※土曜日は午後休診)
- 18:00 — 午後の業務終了





## 新入職員研修

入職初日には、柔道整復師の業務に関するガイダンスのほか、接遇研修や施設案内、出勤・退勤ルールの確認などを行います。この日から、米田病院職員としての新たな日々が始まります！

## 指導体制

「半年～10ヶ月程で自立して業務を行えるようになること」を目標としています。自立した後も、もちろん、アドバイスやフォローは継続していきます。教育係以外にも複数名の先輩がフォローにあたるため、多角的視野を養うことが出来ます。※教育体制は年度毎に検証、実施をくり返しています。



4月 社会的基礎ルール、事務的業務、施設基準の理解

5月 宿直開始 (1～2回/1ヶ月)

4月～翌1月 予診、整復(術者・助手)、固定(ギプス・プライトン・アルフェンス)、リハビリ、松葉杖指導、物療の取扱、各種書類の作成方法について順次学ぶ

- POINT!**
- 先輩の患者さんへの対応を見学したり、教育係の指導を受けながら自立を目指します。
  - まずは基本的な項目(接遇含む)から学びます。
  - 習熟度を確認するため、毎月テストを行い自立度を判断します。クリアすればSTEP UP!!
  - リハビリは理学療法士の指導やフォローがあり、より専門的な知識・技術が身につきます。



翌1月頃 自立!!



## フォロー体制

教育係とともに業務手順の確認・評価を行いながら、無理なく進めていく体制をとっています。一方的に進むのではなく、個々の技量にあわせて進めていきます。

当院に勤務する柔道整復師の多くは、3年間の勤務を経て、新たなるステージに向けて「卒業」していきます。米田病院で柔道整復師としてのキャリアをスタートし、2022年3月に退職した方々の声をご紹介します。



窪井 将志さん  
4年間勤務

4年間の研修期間を終え、米田病院で勤務することができて良かったと心から感じております。外来では医師の指導のもとに整復・固定や診察補助をしたり、入院病棟では理学療法士の方々にアドバイスをいただきながらリハビリテーションを行ったりするなど、本当に多くの経験を積むことができました。

また、米田接骨院での勤務や大相撲・マラソン大会の救護活動など、**幅広い分野に携わることが出来るのも米田病院の魅力**の一つだと思います。

私は、脊柱の疲労骨折として知られる腰椎分離症を研究する「分離症研究班」としての活動に力を入れて研修期間を過ごしました。腰椎分離症は成長期のスポーツ選手に好発する傷害で、当院にも多くの患者さんが来院されます。一人でも多くの患者さん・ご家族様の不安を和らげるべく、医師と連携し今後の方針を立て、運動復帰に向け段階的に治療を進めます。私も初診から治療終了までの過程に携わることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。こんな私ですが、業務で失敗し、落ち込むことが稀にありました。悩んで、自信を無くしかけたこともあったような気がします。それを難なく乗り越えることができたのは、紛れもなく同期や先輩・後輩たちによるフォローのおかげです。

**明るく賑やかで働きやすい環境は、米田病院の特徴のひとつ**だと思います。

最後に、米田病院で過ごした4年間でまとめさせて下さい。

**「米田病院最高！」**



川口 潤さん  
3年間勤務

私が米田病院に入職したのは、柔道整復師本来の業務を多く経験できる職場で、将来の進路を考えるためのヒントを求めたからです。というのも、自身のケガがきっかけで医療系の仕事を志しましたが、何か劇的な理由があり柔道整復師の資格を取得したわけではなかったからです。

入職してからは米田伝統の保存療法、特に固定技術に関して練習に明け暮れる日々で、専門職として働く意味を痛感しました。

日々の臨床の中で思い返されるのは「(柔整は)小ドクターじゃないよ」という言葉です。**医師でも理学療法士でもない、我々にしかできない患者との向き合い方**について考えるきっかけ

となった言葉です。そして、今では柔道整復師にしかできない医療があると確信しています。現在、「接骨院の上にビルが建つ」と言われた時代は過ぎ、柔道整復師として身を立てるのが本当に難しい環境にいると感じます。ただし、特別な変化を要請されているのではなく、寧ろ

**これまで以上に基礎医学に忠実な再現性の高い技術、言語化できる治療**であると考えます。

米田の教えを胸に、時代が必要とする柔道整復師になれるように今後も精進します。

学生時代から数えると6年間、米田に身を置きました。

私は怠惰な人間ですが、そんな私に対して最後まで目をかけてくれた院長始めとする米田関係者の皆様、多くの学びを与えてくれる患者様、支えてくれた家族の存在。

私を動かす原動力いつも「自分を支えてくれた人たちに少しでも報いたい」これだけです。

一生分の原動力を米田と家族から貰い感謝しかありません。ありがとうございました。





釜崎 舞さん  
3年間勤務

米田病院で勤務した3年間では、主に外来で多くの経験をさせていただきました。怪我をした患者さんや痛みで生活に困っている患者さんが整形外科へ行き、どのような処置をするのかを学ぶ事によって、今後私が接骨院の現場で判断をする立場になった時に必要な経験をすることができました。

時には主治医の先生や専門医の先生方の診察を見学させていただくことも、ご意見を伺うこともでき、大変多くの疾患について学ぶことができました。

また、米田病院には研究班がありアキレス腱断裂班として3年間活動をさせていただきました。毎週の勉強会や学会発表、多くのアキレス腱断裂患者さんの対応など、他施設では経験ができないような貴重な経験をさせていただくことができました。院長先生をはじめとしたアキレス腱断裂班の先輩方から、**1つの疾患に対して深く学ぶ事、最新の知見を理解する事、それらを患者さんに還元する事の重要性を知ること**ができ、今後の私の財産となりました。今後も柔道整復師として、米田病院での経験を最大限に活かしていきたいと思えます。



幸村 駿さん  
3年間勤務

私は学生時代から、手技療法が主の接骨院開業を目標としていました。**将来たくさんのお客様をみるためにはより広い視野を持つべきと考え、米田病院に入職**しました。資格取得後のスタートに整形外科を選択したことで、実際、接骨院ではみられないような外傷や、様々な疾患を経験することができました。外来では、外傷や急患などの初期対応から治療経過、終了までの対応も経験しましたが、もし他院に就職していたらこれらの経験は得られなかったかもしれないと感じています。柔道整復師としてのスタートダッシュでこのような知見を得られたことは、後に己の良い基盤になると思います。

また、私たちの世代は入院病棟での入院患者さんのリハビリをしっかりと経験することができ、恵まれた環境だったと実感しております。病棟では人工関節置換術後や脊椎圧迫骨折の患者さんのリハビリなども経験しました。加えて、起立性低血圧、パーキンソン病によるふらつきなど、入院の主病症とは別の理由で転倒リスクのある患者さんのリハビリに携わることもあり、送り迎えや部屋の環境設定にも注意が必要だと学びましたし、入院生活でストレスがたまったり不安を抱えていたりする患者さんの話を聞くなど、担当患者さんを持つことで“患者さんに寄り添う”ということの意味を少し理解できたような気がします。

**米田病院を選択した理由の一つに、多くの研究班活動の存在もありました。**私は、OA(変形性膝関節症)班や転倒予防班に携わり、研究班活動では主に転倒予防関連に注力しました。コロナ禍前には転倒予防教室を開催し、地域貢献という形で高齢者へ体操や生活指導を行いました。参加者、スタッフともにとっても楽しい雰囲気で行うことができ、こういった医療者主体のイベントは素晴らしく有意義であると実感し、後の人生においても似たような活動を開くことでたくさんの笑顔が生まれたらいいなと考えるきっかけにもなりました。このような経験ができたこと、感謝申し上げます。

以上のように、在職中は本当に多くの事を学ばせていただきました。米田病院で培った経験を忘れず、次の職場である接骨院でも日々努力を続けていこうと思えます。

# 施設案内

310㎡の広々としたリハビリ室(クリニック1F)



アスリハも可能なリハビリ室(クリニック2F)



280㎡の広々としたリハビリ室(病院)



リハビリ室(病院)に直結した屋外テラス



MRI(2機)をはじめとする様々な検査機器



患者さんにもスタッフにも優しい  
ワンフロアの整形外科病棟(54床)



整形外科に特化した手術室(3室)



YONEDAグループの米田柔整専門学校で  
最新の各種医療雑誌や書籍の閲覧が可能



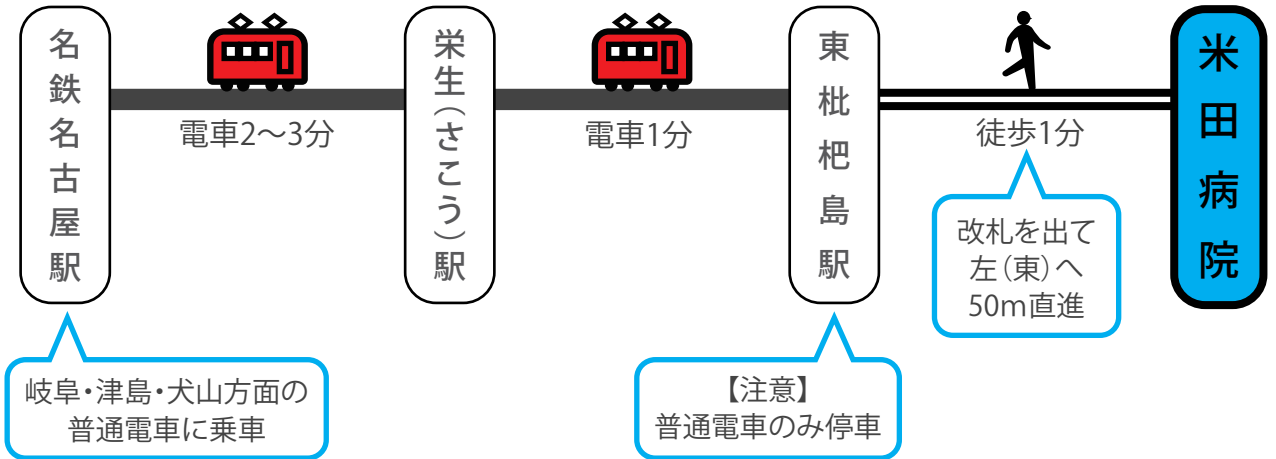
# アクセス

〒451-0053

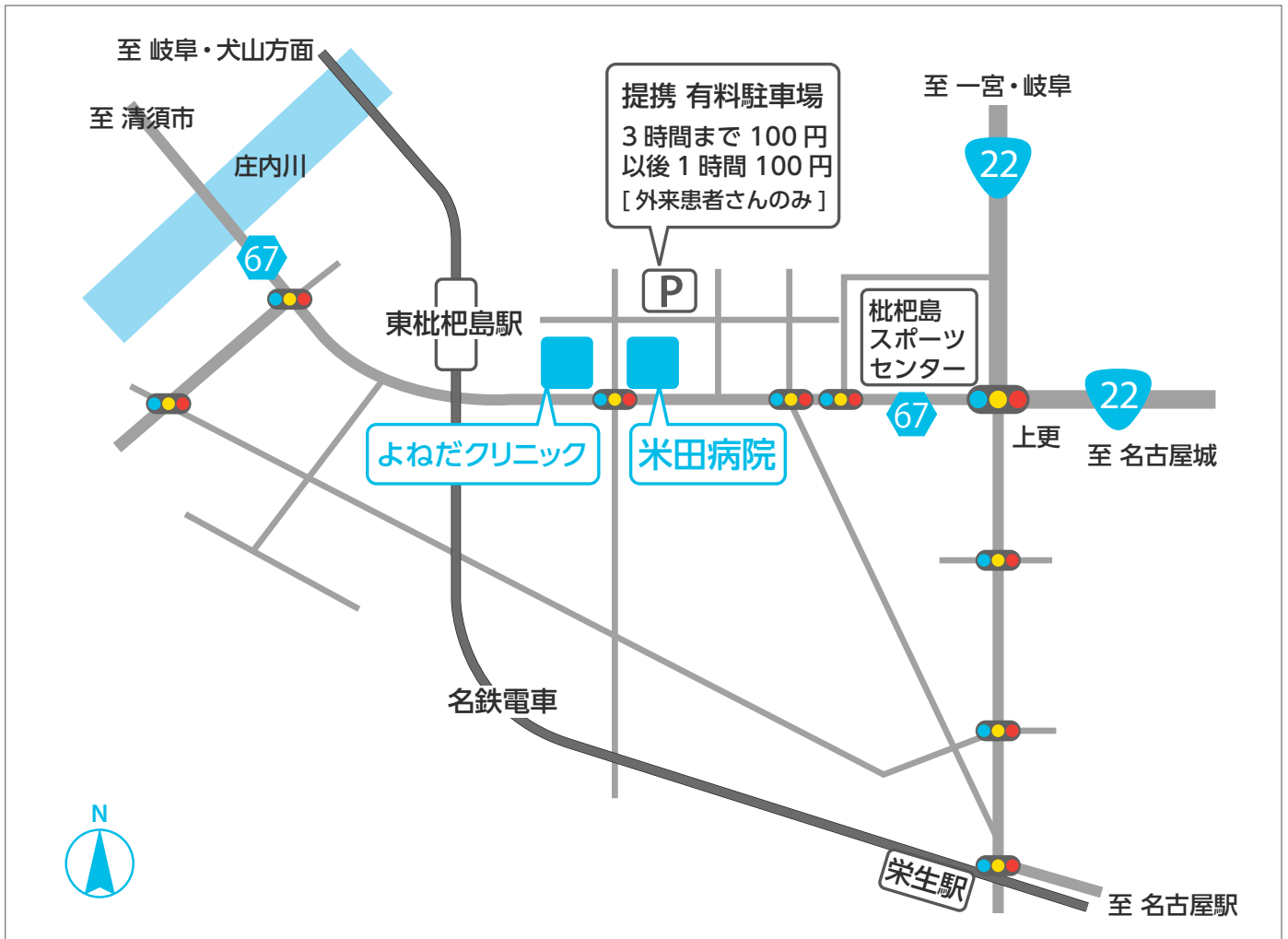
愛知県名古屋市西区枇杷島一丁目11番5号 ☎052-521-6406

## ■ 公共交通機関でお越しの方(名鉄)

名古屋駅から2駅、東枇杷島駅から徒歩1分。名古屋駅からのアクセス◎



## ■ 周辺地図



# 募集要項

職種	柔道整復師										
勤務地	米田病院 よねだ整形リハビリクリニック										
勤務時間	週40時間										
勤務体制 ※基本シフト	<table border="0"> <tr> <td>病院外来①</td> <td>8:30～12:30 / 15:00～19:00</td> </tr> <tr> <td>病院外来②</td> <td>8:30～12:30 / 15:30～19:30</td> </tr> <tr> <td>病院外来③</td> <td>8:30～12:30 / 13:30～17:30</td> </tr> <tr> <td>クリニック外来</td> <td>8:30～12:30 / 15:00～19:00</td> </tr> <tr> <td>木・土</td> <td>8:30～12:30</td> </tr> </table> <p>・1ヶ月に1～2回、宿直業務があります。          ・1ヶ月に2～3回、接骨院業務があります。          ・柔道整復師の平均残業時間は1ヶ月あたり2時間程度です。</p>	病院外来①	8:30～12:30 / 15:00～19:00	病院外来②	8:30～12:30 / 15:30～19:30	病院外来③	8:30～12:30 / 13:30～17:30	クリニック外来	8:30～12:30 / 15:00～19:00	木・土	8:30～12:30
病院外来①	8:30～12:30 / 15:00～19:00										
病院外来②	8:30～12:30 / 15:30～19:30										
病院外来③	8:30～12:30 / 13:30～17:30										
クリニック外来	8:30～12:30 / 15:00～19:00										
木・土	8:30～12:30										
休暇	<p>年次有給休暇 : 初年度10日付与  <small>※当院は、有給休暇の取得を奨励しています。</small></p> <p>正月・盆休み : 8月15日, 12月30日～1月3日          夏期休暇 : 7月～9月の間で2日間          その他 : 慶弔休暇など</p>										
給与	<p>昇給 : 年1回 4月          賞与 : 年2回 7月・12月 (4ヶ月程度)  <small>※初年度支給額は当院規定による。</small></p>										

病院見学 エントリー	<p>随時募集中  <small>※個別で日程などを調節させていただきます。</small></p>
問い合わせ	<p>住所 : 〒451-0053 名古屋市西区枇杷島一丁目11番5号          電話 : 052-521-6406          Mail : info@yoneda.or.jp          担当 : 医療法人 米田病院 総務課 加藤 朱雄 (カトウ アケオ)</p>